

研修仕様書

研 修 科 目	(区分A) 第9回市バス運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の迫及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、市バス運転士に対し、事故防止とお客様サービスの研修を実施し、運転技術とお客様サービスの更なる向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の向上 ・ 全国一のお客様サービスを実践できる職員の育成
受 講 対 象 者	採用後、4年目以降の市バス運転士（指導運転士・61歳以上の運転士除く）
受 講 予 定 人 数	1日当たり4名
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり6.5時間 70回（予定）
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月から令和8年3月（予定）
研 修 実 施 場 所	京都市交通局研修所及び市内路上
研 修 方 法	講義及び実車（市バス）での体験実習（運転技能自動評価システムなど受診）
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 危険予測と危険回避について、安全空間の重要性 アンガーマネジメント等について 運転技能自動評価システム受診結果から得た運転個癖の把握と改善策 ヒューマンエラーと事故防止</p> <p>◆ 体験実習 実車（市バス）研修（市内路上） 基本の運転姿勢、基本操作の確認 運転操作についての助言 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1日のタイムスケジュールは(別紙1)参照</p>
上 限 金 額	1日当たり77,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、民間の接客専門講師（委託）及び本市職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-1)

(区分A) 第9回市バス運転士セミナー タイムスケジュール

時間		項目		担当
8:45 ∪ 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
8:55 ∪ 9:40	45分間	講義	事故防止	※提案者
休憩				
9:50 ∪ 10:40	50分間	講義	乗客接遇	交通局 (接遇講師)
休憩				
10:50 ∪ 12:50	120分間	体験実習	コース走行 (市内路上)	※提案者 交通局職員、接遇講師(委託)同乗
休憩				
14:00 ∪ 14:30	30分間	講義	乗客接遇	交通局 (接遇講師)
休憩				
14:40 ∪ 16:40	120分間	講義	事故防止	※提案者
休憩				
16:50 ∪ 17:20	30分間	講義	服務公務員倫理	交通局
17:20 ∪ 17:30	10分間	まとめ		交通局

※ 太文字の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分B) 3年目市バス運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、採用後3年目の市バス運転士に対し、徹底した事故防止対策とお客様サービスの向上を目的とした研修を実施することにより、職員としての自覚を再認識させるとともに、自動車事業に対するより積極的かつ能動的な取組意欲を喚起する。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の向上 ・ 全国一のお客様サービスを実践できる職員の育成
受 講 対 象 者	採用後3年目の市バス運転士
受 講 予 定 人 数	1回当たり5名程度
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり6.5時間 1回(予定)
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月から令和8年3月(予定)
研 修 実 施 場 所	京都市交通局研修所及び市内路上
研 修 方 法	講義及び実車(市バス)での体験実習(運転技能自動評価システムなど受診)
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 3年目の総括と今後の課題 危険予測と危険回避について、安全空間の重要性 アンガーマネジメント等について 運転自動評価システム受診結果から得た運転個癖の把握と改善策 ヒューマンエラーと事故防止</p> <p>◆ 体験実習 実車(市バス)研修(市内路上) 基本の運転姿勢、運転操作の確認 運転操作についての助言 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1日のタイムスケジュールは(別紙2)参照</p>
上 限 金 額	1日当たり77,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、民間の接遇専門講師(委託)及び本市職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-2)

(区分B) 3年目市バス運転士セミナー タイムスケジュール

時間		項目		担当
8:45 ∩ 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
8:55 ∩ 9:40	45分間	講義	事故防止	※提案者
休憩				
9:50 ∩ 12:50	180分間	体験実習	コース走行 (市内路上)	※提案者 交通局職員、接遇講師(委託)同乗
休憩				
13:50 ∩ 15:30	90分間	講義	乗客接遇	交通局 (接遇講師)
休憩				
15:40 ∩ 16:40	60分間	講義	事故防止	※提案者
休憩				
16:50 ∩ 17:20	30分間	講義	服務公務員倫理	交通局
17:20 ∩ 17:30	10分間	まとめ		交通局

※ 太文字の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分C) 2年目市バス運転士・指導運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、採用後2年目の市バス運転士に対し、運転技術とお客様サービスの更なる向上を図る。また、指導運転士の指導力向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の向上 ・ コーチング知識・技術の向上（指導運転士） ・ 全国一のお客様サービスを実践できる職員の育成
受 講 対 象 者	採用後2年目の市バス運転士・指導運転士
受 講 予 定 人 数	1回当たり2年目の市バス運転士5名、指導運転士2名
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり6.5時間 14回（予定）
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月から令和8年3月（予定）
研 修 実 施 場 所	京都市交通局研修所及びJRA 京都中央競馬場駐車場
研 修 方 法	講義及び実車（市バス）での体験実習（運転技能自動評価システムなど受診）
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 2年間の知識や運転振りについて現状把握と課題 危険予測と危険回避について アンガーマネジメント等について 運転自動評価システム受診結果から得た運転個癖の把握と改善策 ヒューマンエラーと事故防止</p> <p>◆ 体験実習 実車（市バス）研修（JRA 京都中央競馬場駐車場） 基本の運転姿勢、運転操作の確認 的確な運転操作のための運転訓練（狭路走行、枠内転回、スラローム等） 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1日のタイムスケジュールは(別紙3)参照</p>
上 限 金 額	1日当たり88,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、民間の接客専門講師（委託）及び本市職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、体験実習でのコース設置料、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙3)

(区分C) 2年目市バス運転士・指導運転士セミナー タイムスケジュール

時間	区分	項目	担当
8:45 ┆ 8:55	10分	オリエンテーション	交通局
8:55 ┆ 10:00	65分	机上研修 事故防止	※ 提案者
休憩			
10:10 ┆ 11:00	50分	机上研修 乗客接遇	交通局
昼休み			
12:00 ┆ 16:00	240分	体験実習 コース走行 (JRA駐車場)	※ 提案者 接遇専門講師(委託)及び交通局職員も同乗します。
休憩			
16:15 ┆ 17:00	45分	机上研修 事故防止	※ 提案者
17:00 ┆ 17:20	20分	服務等	交通局
17:20 ┆ 17:30	10分	閉講式	交通局

※印の時間について企画、担当して頂きます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分D) 1年目市バス運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、採用後1年目の市バス運転士に対し基本操作及び安全運転技術を徹底する研修を実施する。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本操作の再確認 ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転技術の更なる向上 ・ プロドライバーとしての意識の向上
受 講 対 象 者	採用後1年目の市バス運転士
受 講 予 定 人 数	1回当たり1年目の市バス運転士10名程度
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり6.5時間 11回(予定)
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月から令和8年3月(予定)
研 修 実 施 場 所	契約事業者施設(派遣)
研 修 方 法	実車での体験実習
研 修 内 容	<p>採用後1年目の市バス運転士を契約事業者の施設に派遣する。</p> <p>◆ 体験実習 実車研修(契約事業者施設)</p> <p>基本の運転姿勢、運転操作の確認 的確な運転操作のために運転訓練 ドア開閉時のアナウンスと安全確認 発進停車、右左折時の注意喚起の徹底 リアオーバーハングの意識付け</p>
上 限 金 額	1回当たり292,000円
補 足 事 項	最寄り駅から、事業者施設までの送迎

○ 上限金額は、施設利用料、研修車両使用料、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分E) シニアドライバーセミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、61歳到達年度以降の市バス運転士に対し、運転技術とお客様接遇の再徹底を図るとともに、シニアドライバーの特性や注意事項等について認識を深める研修を実施する。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の再考
受 講 対 象 者	61歳到達年度及び63歳到達年度の市バス運転士（暫定再任用職員、会計年度職員含む）
受 講 予 定 人 数	1回当たり4～5名程度
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり6.5時間 7回（予定）
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月から令和8年3月（予定）
研 修 実 施 場 所	京都市交通局研修所及びJRA 京都中央競馬場駐車場
研 修 方 法	講義及び実車（市バス）での体験実習（運転技能自動評価システムなど受診）
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 安全・安心・快適な運転に必要な知識 的確な判断のための知識と反応力 加齢及び長い運転経験が業務に及ぼす影響 ベテラン運転士の役割</p> <p>◆ 体験実習 実車（市バス）研修（JRA 京都中央競馬場駐車場） 基本の運転姿勢、運転操作の確認 危険回避トレーニング 的確な運転操作のために運転訓練（狭路走行、枠内転回、スラローム等） 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1日のタイムスケジュールは（別紙4）参照</p>
上 限 金 額	1日当たり88,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代替者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、民間の接遇専門講師（委託）及び本市職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、体験実習でのコース設置料、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-4)

(区分E) シニアドライバーセミナー タイムスケジュール

時間		項目		担当
8:45	10分間	オリエンテーション		交通局
8:55				
8:55	65分間	講義	事故防止	※提案者
10:00				
休憩				
10:10	50分間	講義	乗客接遇	交通局 (接遇講師)
11:00				
休憩				
12:00	240分間 (移動時間含む)	体験実習	課題走行 (JRA駐車場)	※提案者 交通局職員、接遇講師(委託)同乗
16:00				
休憩				
16:15	45分間	講義	事故防止	※提案者
17:00				
17:00	20分間	講義	服務公務員倫理	交通局
17:20				
17:20	10分間	まとめ		交通局
17:30				

※ 太文字の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分F) 新規採用市バス運転士派遣研修
研 修 の 目 的	新規採用市バス運転士研修（以下「新採研修」という。）の乗務練習期間中、研修生に対して研修所職員による指導に加え、より専門的な見地から、安全運行の確保における基本的な技術・技能・知識の習得を目指し、交通教育の専門家が在籍する民間の研修施設へ派遣して実施する。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本の運転姿勢の習得 ・ 死角、内輪差、リアオーバーハング、発進時の車両特性などの理解 ・ 危険予測の精度・危険への対応力を高める ・ 注意喚起の必要性
受 講 対 象 者	契約年度中に採用された市バス運転士研修生（以下「研修生」という。）
受 講 予 定 人 数	・ 1回当たり16名程度
研 修 時 間 ・ 回 数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日当たり7.0時間 ・ 年間12回（予定） <p style="text-align: center;">※採用計画の状況により変動する場合があります。</p>
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年4月1日～令和8年3月末日 ※採用計画の状況により変動する場合があります。
研 修 実 施 場 所	契約事業者施設（派遣）
研 修 方 法	実車での体験実習
研 修 内 容	<p>市バス運転士採用時研修期間中に、基本的な技術・技能・知識などの習得を目指し、契約事業者の施設に研修生を派遣する。</p> <p>◆ 体験実習 実車研修（契約事業者施設）</p> <p>基本の運転姿勢、運転操作の確認 的確な運転操作のために運転訓練 ドア開閉時のアナウンスと安全確認 発進停車、右左折時の注意喚起の徹底 リアオーバーハングの意識付け</p>
上 限 金 額	1回当たり292,000円
補 足 事 項	最寄り駅から、事業者施設までの送迎

○ 上限金額は、施設利用料、研修車両使用料、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 G) 指導運転士派遣研修 (コーチングコース)
研 修 の 目 的	市バス運転士に対する指導者としての、教育・指導のあり方を交通教育の専門家から学ぶことで、指導者としての基礎知識を習得し、指導内容の向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導対象運転士の運転スキルと安全意識向上のための、理論に基づいた指導方法について理解を深める。 ・ 個人差に応じた効果的な指導方法を学び指導の幅を広げる。
受 講 対 象 者	指導運転士
受 講 予 定 人 数	1回当たり10名程度
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり7.0時間 年間2回 (予定)
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月から令和8年3月 (予定)
研 修 実 施 場 所	契約事業者施設 (派遣)
研 修 方 法	実車での体験実習
研 修 内 容	指導運転士を契約事業者施設に派遣して実施 ◆ 机上研修 ティーチング技法、コーチング技法 ◆ 体験実習 実車研修 (契約事業者施設) 基本の運転姿勢、運転操作の確認 コーチング実習
上 限 金 額	1回当たり292,000円
補 足 事 項	最寄り駅から、事業者施設までの送迎

○ 上限金額は、施設利用料、研修車両使用料、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分H) 指導者向け派遣研修 (コーチングコース)
研 修 の 目 的	初任運転者等の教育を行う者に対して、教育・指導のあり方を交通教育の専門家から学ぶことで、指導者としての基礎知識を習得し、指導内容の向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導対象運転士の運転スキルと安全意識向上のための、理論に基づいた指導方法について理解を深める。 ・ 個人差に応じた効果的な指導方法を学び指導の幅を広げる。
受 講 対 象 者	初任運転者等の教育担当者
受 講 予 定 人 数	1回当たり10名程度
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり7.0時間 年間1回 (予定)
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月から令和8年3月 (予定)
研 修 実 施 場 所	契約事業者施設 (派遣)
研 修 方 法	実車での体験実習
研 修 内 容	<p>初任運転者等の教育担当者を契約事業者施設に派遣して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 机上研修 <ul style="list-style-type: none"> 人材育成のためのコーチング術 初任運転者等を育成するためのコーチング理論 ◆ 体験実習 実車研修 (契約事業者施設) <ul style="list-style-type: none"> コーチング理論に基づいてロールプレイを行い、その体験で得られたことから、指導方法について再考する。
上 限 金 額	1回当たり292,000円
補 足 事 項	最寄り駅から、事業者施設までの送迎

○ 上限金額は、施設利用料、研修車両使用料、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 I) 自動車部運行管理者研修
研 修 の 目 的	<p>運行管理者が果たすべき役割と責務の再考。運行管理者に必要な指導力、及び知識の向上を図る。</p> <p>また、研修所が実施する市バス運転士を対象とした研修（以下「各種セミナー」という。）の教示内容について理解する。</p>
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度に実施する各種セミナーの教示内容の理解。 ・ 運行管理者が果たすべき役割と責務の再考。
受 講 対 象 者	運行管理者及び運行管理補助者
受 講 予 定 人 数	1回当たり20名程度
研 修 時 間 ・ 回 数	1日当たり7.0時間 3回（予定）
研 修 実 施 予 定 時 期	令和7年5月
研 修 実 施 場 所	京都市交通局（サンサ右京）
研 修 方 法	机上研修
研 修 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和7年度市バス運転士を対象とした各種セミナーの解説。 ◆ 運行管理者が果たすべき役割と責務の再考。運行管理者に必要な指導力、及び知識の向上を図る。 <p>※ 1日のタイムスケジュールは(別紙5)参照</p>
上 限 金 額	1回当たり44,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

○ 上限金額は、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-5)

(区分I) 自動車部運行管理者研修

時間		項目	担当
9:00 ∩ 9:10	10分間	開講挨拶	交通局
9:10 ∩ 9:30	20分間	安全統括管理者訓示	交通局
9:30 ∩ 10:10	40分間	重要事項対応マニュアル	交通局
休憩			
10:20 ∩ 11:00	40分間	運輸安全マネジメント	交通局
休憩			
11:10 ∩ 12:00	50分間	令和7年度各種セミナーについて	※ 提案者
休憩			
13:00 ∩ 16:00	180分間	運行管理者に必要な指導力及び知識の向上	※ 提案者
休憩			
16:10 ∩ 17:00	50分間	人権研修 お客様サービスモニター制度	交通局
17:00 ∩ 17:30	30分間	履修報告書記入	交通局

※ 太文字の時間を企画、担当していただきます。